

目次

[概要](#)
[前提条件](#)
[使用するコンポーネント](#)
[表記法](#)
[背景説明](#)
[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、複数の Java がインストールされたマシンの特定の問題を解決できる特定の Java インストールを使用するために audium.exe を強制する方法について説明します。

前提条件

使用するコンポーネント

この文書に記載されている情報は Cisco Unified Call Services (ユニバーサル版) および Cisco Unified Call Studio に、ユニバーサル版に基づいています。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

背景説明

症状: ユーザは Windows を使用します。音声ソフトウェアのインストールのエラー表示、たとえば、audium.exe が Java 問題を示唆する別のインストーラ。1つのそのようなエラーメッセージはこれです:

解決策: 音声 インストーラはデフォルトよりもむしろ特定の Java インストールを使用するために強制することができます。これを使うと、サポートされた Java バージョンを使用することを確かめる場合もあります。次の手順に従います。

1. 開いて下さいコンソールを、たとえば、**Start > Run... -> cmd**。
2. インストーラ ファイルの位置へのナビゲート。
3. 望ましい java.exe にフルパスに、たとえば先行している実行して下さい、LAX_VM オプションとインストーラを

関連情報

- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)